

2023年度地球環境基金助成金の要望受付開始について ～全国8地域で助成金説明会を行います～



説明会ホームページ

令和4年9月30日（金）
（独）環境再生保全機構 地球環境基金部
部長：森田 将義
地球環境基金課長：石川 倫
担当：本多、山崎、西岡
連絡先 044-520-9505 FAX:044-520-2192

環境分野の政策実施機関である独立行政法人環境再生保全機構（神奈川県川崎市 理事長 小辻智之）地球環境基金では、日本国内外の民間団体（NGO・NPO）が開発途上地域または日本国内で実施する環境保全活動に対し、助成金の交付を行っています。

1 2023年度助成金募集案内を本日公表しました

- ✓ 要望書の受付期間は、[2022年11月10日（木）～同年12月1日（木）](#)です。
- ✓ NGO・NPOの日本国内や開発途上地域における環境保全プロジェクトを幅広く支援します。【詳細⇒2ページ】

2 今年も助成金説明会・オンライン個別相談会を開催します

- ✓ 各地域の環境パートナーシップオフィス（EPO）との連携・協力の下、全国8地域で[助成金説明会](#)を開催します。
- ✓ [オンライン開催／併用の会場は、全国どの地域からでも](#)参加できます。
- ✓ NPO等の皆様から地球環境基金スタッフが直接ご相談を承る[オンライン個別相談会](#)も10月31日から11月7日にかけて開催予定です。【詳細⇒2ページ】

3 「企業協働プロジェクト」による協働・連携を推進しています

- ✓ 企業等の寄付金により特定分野や地域における環境保全プロジェクトを助成する「企業協働プロジェクト」を推進しています。
- ✓ （一社）日本釣用品工業会からの寄付による[LOVE BLUE助成](#)（2015年～、水辺の環境保全活動を対象）を実施します。【詳細⇒3ページ】

4 人件費の助成上限額を20%引き上げます

- ✓ 全国的な賃金上昇傾向を踏まえ、[アルバイト賃金の助成上限額を1時間当たり1,000円から1,200円に引き上げる](#)など、2023年度助成金から人件費の助成上限額を全体的に20%程度引き上げます。【詳細⇒3ページ】

1 2023年度助成金募集案内を本日公表しました

- ✓ 2023年度も「はじめる→つづける→ひろげる」のステップアップなど、NGO・NPOの状況やそのプロジェクトに応じた助成メニューによる支援を行います。
- ✓ 要望書の受付期間は、[2022年11月10日（木）正午～同年12月1日（木）13時まで【時間厳守】](#)です。
- ✓ 主な応募要件、助成メニュー等は、以下のとおりです。

<主な応募要件>

1. 助成対象団体 特定非営利活動法人、（一般/公益）財団法人・社団法人、任意団体
2. 助成対象地域 日本国内、開発途上地域
3. 助成金募集案内の公表 2022年9月30日（金）16:00
4. 応募期間 2022年11月10日（木）～2022年12月1日（木）
5. 助成期間 2023年4月1日～2024年3月31日
6. 対象となる活動分野 幅広い分野の環境保全活動を対象としています
 （自然保護・保全・復元、森林保全・緑化、砂漠化防止、環境保全型農業等、脱炭素社会形成・気候変動対策、循環型社会形成、大気・水・土壌環境保全、復興支援等、総合環境教育、総合環境保全活動）
7. 助成メニュー 7種類（下方参照）
8. 年間助成金額 50万円～1,200万円（助成メニューにより異なります）
9. 2022年度交付実績 175団体、1件あたり平均約330万円（総額約5億8千万円）
10. 提出・問い合わせ先 独立行政法人環境再生保全機構
地球環境基金部 地球環境基金課
TEL 044-520-9505

<助成メニュー等>

2022年度助成金
要望件数・助成件数・交付決定額

	主な特徴	同一活動助成期間	年間助成額/件	要望件数	助成件数	百万円
はじめる助成	団体設立から10年以下 未助成団体・小規模活動を支援	1年間（1団体1回限り）	50～300万円	26	3	4
つづける助成	未助成団体・定着を目指す活動を支援	最大3年間（1団体1回限り）	50～300万円	53	30	68
ひろげる助成	ステップアップを目指す活動を支援	最大3年間（連続6年まで）	200～800万円	169	113	419
フロントランナー助成	先進的、モデルとなる活動を支援	原則3年間（評価で5年まで）	600～1200万円	9	6	39
プラットフォーム助成	環境課題を解決する連携基盤の活動を支援	最大3年間	200～800万円	7	4	20
復興支援助成 （継続3年目のみ）	東日本大震災、熊本地震復興活動を支援 *2022年度をもって終了*	最大3年間	100～500万円	4	4	11
特別助成	地域循環共生圏を構築する活動を支援	最大2年間	50～200万円	6	3	5
LOVE BLUE助成	*企業協働プロジェクト 清掃活動等水辺の環境保全活動を支援	最大3年間	1案件50万～200万円目安 総額1,800万円以内	14	12	13
計				289	175	582

※端数処理（百万円未満切り捨て）の関係で合計が合わない場合がある。

*2023年度助成金から「復興支援」関係の活動は、各メニューから活動分野「j. 復興支援等」を選択して要望いただくことになります。

2 今年も助成金説明会・オンライン個別相談会を開催します

- ✓ 詳細は、[地球環境基金ホームページ](#)で随時更新しています。
<https://www.erca.go.jp/jfge/subsidy/application/schedule/index.html>
- ✓ オンライン個別相談では、[具体的な申請内容や手続](#)についてもご相談いただけます。ぜひご活用ください。



● 概要

- 企業等（企業・団体・個人など）のご寄付を直接助成に充て、当該企業等からの拠出によることを明らかにして助成を行います。寄付者の貢献が目に見える仕組みです。

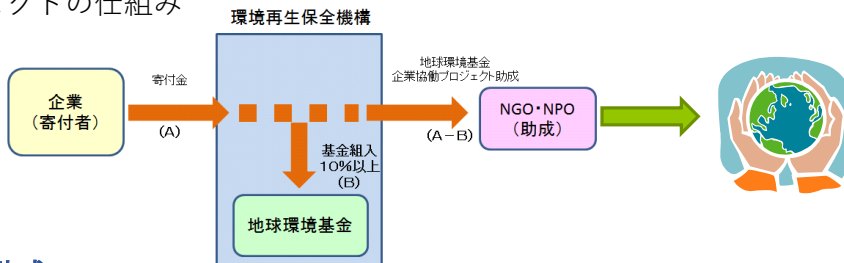
● プロジェクトのポイント

- 公的法人なので安心して参画できます。
- 寄付者に関連のある分野・地域を指定いただくことが可能です。
- 寄付者のプロジェクトとして公表できます。

● プロジェクトの条件等

- 寄付金の額：概ね単年度1,000万円以上または300万円を3年以上
- 寄付金のうち、寄付額の一部を「地球環境基金」に繰り入れる。
- 助成先の募集、審査、助成金の支払い等は、地球環境基金助成金の枠組みで実施。
- プロジェクト期間：1年間もしくは3年間（継続助成の場合）

● プロジェクトの仕組み



■ LOVE BLUE助成

「LOVE BLUE助成」は、一般社団法人日本釣用品工業会より地球環境基金に寄付された資金をもとに、清掃活動など、水辺の環境保全活動を支援するための助成金です。

2023年度は、総額1,800万円の助成枠（前年比+450万円）を予定しています。

LOVE BLUEとは、一般社団法人日本釣用品工業会が公益財団法人日本釣振興会と共同で取り組む環境・美化事業です。この事業は、釣り用品メーカー等が国内で販売する釣り関連製品に『環境・美化マーク』を表示し、その売り上げの一部が一般社団法人日本釣用品工業会へ拠出され、事業原資となっています。



4 人件費の助成上限額を20%引き上げます

- ✓ 非常勤スタッフのアルバイト賃金： 1,000円/時間 → 1,200円/時間
 - ✓ 若手プロジェクトリーダー賃金： 1,500円/時間 → 1,800円/時間
- など、時間単価と年間累計金額の上限を全体的におよそ20%引き上げます。

<参考>

地球環境基金助成におけるSDGs（持続可能な開発目標）への取組み

2015年9月の国連総会で「Transforming Our World: The 2030 Agenda for Sustainable Development（我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ）」が採択されました。その中心を占めているのが「Sustainable Development Goals（SDGs：持続可能な開発目標）」です。

SDGsは、政府だけではなく地方自治体、市民社会（NPO・NGO）、企業など関係者が広く取組むものとされており、SDGsは先進国、途上国すべてにとっての目標で、誰一人取り残さないように（Leave no one behind）取組み、環境・経済・社会の課題を統合的に解決することを目指しています。

地球環境基金も、活動資金助成やエンパワーメントを行う事業を通じて、SDGsの考え方を活用し、またそれらの相互連関性を意識して、環境保全活動を中心に捉えつつ複数の目標を統合的に解決することを目指す環境NGO・NPOを積極的に支援します。

